

令和6年12月10日

件名 企画展示 「多胡碑記念館 第28回 吉井こども書道展」の開催について

1 開催趣旨・経緯

多胡碑記念館では、高崎市吉井地域の小・中学生に多胡碑（特別史跡）の碑文を手本として書いてもらうことにより、書道を通して碑に親しんでもらうとともに、郷土の歴史・文化の振興を図るため、「多胡碑記念館 吉井こども書道展」を開催します。本展は、旧称である「多胡碑記念館書道展」を含め平成9年度から毎年開催しており、今回で28回目を迎えました。

2. 開催期間 令和7年1月18日（土）～2月9日（日）**3. 展示場所** 多胡碑記念館 2階 企画展示室・拓本のへや**4. 対象** 吉井地域の「小学校5・6年生」及び「中学校1・2年生」**5. 募集作品** 多胡碑の碑文80字から、自由に4文字を選んで書いた半紙作品
(1人1点)**6. 賞の種類** 給羊賞（最優秀）1人、穂積賞（優秀）9人、和銅賞（優良）20人、真人賞（秀作）30人の4種類。（賞の名称は、いずれも多胡碑の碑文にちなんでいます。）入賞者には賞状、給羊賞・穂積賞・和銅賞には記念品、応募者全員に参加賞。給羊賞・穂積賞の作品は、当書道展終了後も3月上旬まで館内で展示。**7. 審査** （一社）群馬県書道協会から2名を推薦していただき、審査を依頼。（審査結果についての問い合わせには、入賞者氏名の校正などを経た会期前日から対応できます。）**8. 表彰式** 令和7年1月26日（日）午前10時30分～ 多胡碑記念館
(給羊賞1人、穂積賞9人を予定)

【本件に関する問い合わせ】

教育部文化財保護課多胡碑記念館

電話:027-387-4928

「第28回 多胡碑記念館 吉井こども書道展」開催要項

1 趣旨・目的

上野三碑（ユネスコ「世界の記憶」に登録）の一つである「多胡碑」は、そこに刻まれた文字に関して、「書」としても価値あるものとされてきました。

この碑文文字を手本として、吉井地域の小学生（5・6学年）及び中学生（1・2学年）を対象とした書道展覧会を重ねており、今回、第28回となる展覧会を開催します。

書を通して、児童・生徒のうちから多胡碑に親しんでもらうとともに、郷土の歴史・文化の振興につなげようとするものです。

2 開催期間 令和7年1月18日（土）～2月9日（日）

3 展示場所 多胡碑記念館（2階） 企画展示室ほか

4 募集内容 別紙「募集要項」により、吉井地域小・中学校あてに募集する。

5 審査 （一社）群馬県書道協会から2名を推薦していただき、審査を依頼する。

6 賞

入賞（4賞）

給羊賞^{きゅうよう}1人(最優秀)・穂積賞^{ほづみ}9人(優秀)・和銅賞^{わどう}20人(優良)・真人賞^{まひと}30人(秀作)

入賞者には、賞状(高崎市教育長名)を、給羊賞・穂積賞・和銅賞には副賞を授与。
また、応募者全員に参加賞（マーカーペン）を進呈。

7 表彰式

日時：令和7年1月26日（日）午前10時30分から

会場：多胡碑記念館 1階 ホール

出席者：給羊賞(1)・穂積賞(9)の計10人

8 広報

報道機関への投げ込み。また「よい地域だより」元日号にて開催案内、2月1日号にて入賞者について掲載。チラシ回覧（吉井地域のみ）。

9 観覧料

上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録記念事業により、引き続き今年度は無料。

第28回 多胡碑記念館 吉井っども書道展

— 吉井地域の小・中学生対象の公募書道展 —

令和7年1月18日(土) ～ 2月9日(日)

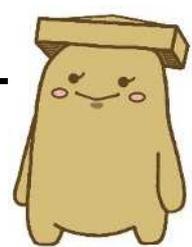
多胡碑記念館では、昔の書風を伝える多胡碑（特別史跡）に親しんでもらうことを目的に、吉井地域の子どもたちを対象とした公募書道展を、平成9年度から毎年開催しています。

小・中学生の元気な筆遣いと墨の香りに、新年の清々しさを感じていただけると思います。是非、お出かけください。



展示風景(令和5年度)

対象…吉井地域の小学校5・6年生、中学校1・2年生。
 募集作品…多胡碑の碑文80字から自由に4文字を選んで半紙に書いた作品、1人1点。
 賞…給羊賞（最優秀）、穂積賞（優秀）、和銅賞（優良）、真人賞（秀作）の4種類。
 その他…○入賞者には賞状、また給羊賞・穂積賞・和銅賞には記念品を授与。応募者全員に参加賞を用意。
 ○給羊賞・穂積賞の作品は、3月中旬まで館内で展示。
 ○開催要項や入賞者については、「よい地域だより」に掲載。



たごぴー

多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085
 tel. 027-387-4928 fax. 027-387-8726
 開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
 休館日 月曜日
 ユネスコ「世界の記憶」登録記念のため、期間中は入館料無料



たごひきねんかん よしい しょうどうてん おうぼほうほう 多胡碑記念館 吉井こども書道展 への応募方法

① 多胡碑の碑文に出てくる漢字から4文字を選び、書く。

字は、連続した4文字でなくても構いません。

(たとえば「尊人成政」「和銅多胡」「上下左右」など)

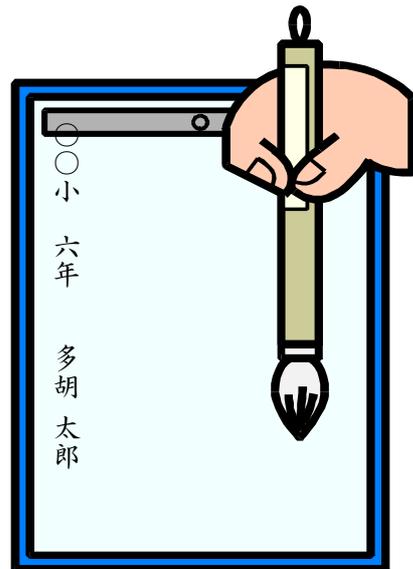
書体は、自由です。ただし、平仮名は審査対象になりません。

紙は、市販の半紙を使用してください。

② 紙の左端に「学校名、学年、氏名」を書く。

③ 学校に提出する(1人1枚まで)。

1月9日(木)午後、多胡碑記念館職員が各学校まで作品を預かりにうかがいます。



【結果発表】入賞者には各学校を通して、審査結果をお知らせします。

表彰式などに関しては別にご案内します。

【表彰式】日時：令和7年1月26日(日)午前10時30分から

会場：多胡碑記念館 1階ホール

【作品返却】応募作品は、書道展終了後(2月末頃を予定)、各学校を通して返却します。

【碑文の読み方】

弁官符す。上野国の片岡郡、緑野郡、甘

良郡并せて三郡の内三百戸を郡と成し、羊に給いて

多胡郡と成せ。和銅四年三月九日甲寅に宣る。

左中弁・正五位下多治比真人。

太政官・二品穂積親王、左大臣・正二

位石上尊、右大臣・正二位藤原尊。

【碑文の意味】

朝廷の弁官局から命令があった。上野国片岡郡、緑野郡、甘良郡の三郡から、

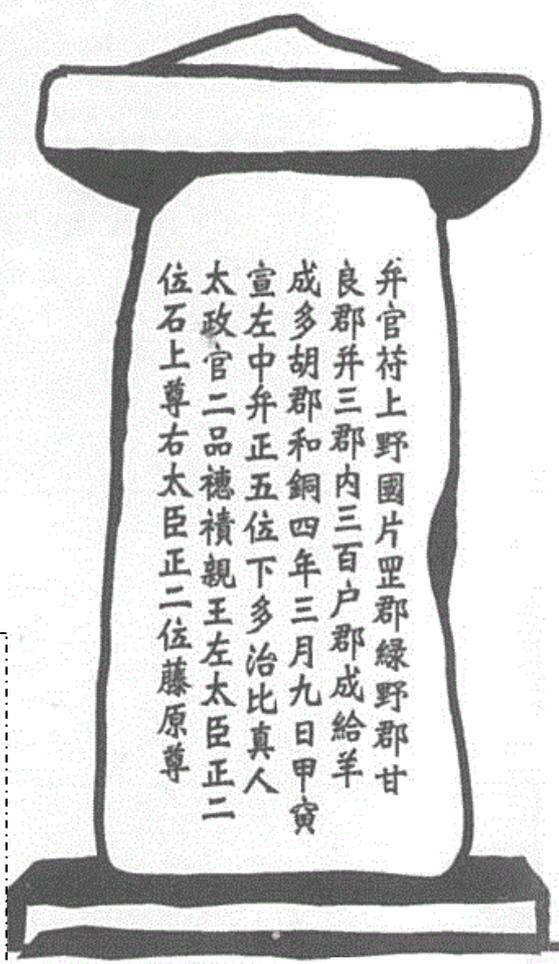
三〇〇戸を分けて新たに郡をつくり、羊に支配を任せる。郡の名は多胡郡とせよ。

和銅(七一一)年三月九日甲寅に命令が伝えられた。左中弁・正五位下多治比真人

から送りつけた天皇の命令書である。太政官・二品穂積親王、左大臣・正二位石上尊、

右大臣・正二位藤原尊。

多胡碑は、711年に今の高崎市山名町と吉井町のあたりに「多胡郡」という郡がつくられたことを記念して建てられました。碑文にある「羊」には、羊太夫伝説があって、多胡碑は、地元の人からは「ひつじさま」と呼ばれて、大切に守られてきました。多胡碑の文字は、18世紀(江戸時代中頃)には、中国で書道のお手本として有名になり、日本にも大きな影響を与えました。



多胡碑

※多胡碑の読み方や意味については、色々な説があります。